

校長室より

「天空高き」



第122号



令和元年6月1日

## We can do it! I can do it! 一笑顔を忘れずに

5月下旬から6月上旬にかけて、山口県総合体育大会が開催されます。

今年の大会スローガンは「翔べ青春 令和の空へ 颯爽と」。新元号になって最初の県高校総体にふさわしい、若者らしい爽快感あふれるスローガンですね。

本校には12クラブがありますが、3年生にとっては最後の大会になります。誰もが勝ちたいと思ってこの大会に臨みます。いつも言っていることですが、必ずしも強いチームが、強い選手が勝つわけではありません。私たちはできる、自分ではできる、We can do it. I can do it. そう考えるチームが、そう考える人が最後には勝つことができます。

自分を信じ、仲間を信じ、監督やコーチを信じて、笑顔で大会に臨んでください。皆さんの健闘を心よりお祈りしています。



## フェイクニュース 一言葉のカー

「フェイクニュース」が注目されています。

「フェイク(Fake)」はにせ物、虚偽という意味です。

本来「ニュース」は事実を報道するものです。ある国で紛争が起きたとか、ある有名人が亡くなったなどというニュースは、事実の報道だと誰もが信じて疑うことはありませんでした。それは発信元が信用されるものに限られていたからです。



準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、そのために考えるすべてのことをこなしていく。

イチロー

それが、ネット社会の到来で、個人の発信が可能になり、それを受信する者が多くなりました。ある国の大統領が、記者会見などせずに、ネットにより直接意見をつぶやくことが日常茶飯事になりました。不特定多数に対する個人発信が可能になり、何でもありの発信、自分に都合のよい、時には事実と反することさえ発信することが可能になりました。こうして、「フェイクニュース」が発生するようになりました。

元号が「平成」から「令和」に変わりました。AIやIoTが進展する時代を担っていく皆さんだからこそ、また、不毛な分断や無用な対立を避けるためにも、白鷗大学特任教授の下村先生が「初耳に出会った時の賢い向き合い方」という中で、以下のつぶやきを発信されていました。皆さんはこのつぶやきを唱えしっかりメディアリテラシーを身に付けてください。

何か情報を受信した時には、以下の4つの疑問をつぶやくことが大事です。

- \* 「まだわからないよね？」（即断するな）
- \* 「事実かな？」（鵜呑みにするな）
- \* 「他の見方もないのかな？」（偏るな）
- \* 「隠れている者はないかな？」（スポットライトの中だけ見るな）

発信時には、次の4つの自問でチェックすることです。

- \* 「私は何を伝えたいの？」（明確さ）
- \* 「キメつけてないかな？」（正確さ）
- \* 「キズつけてないかな？」（優しさ）
- \* 「これで伝わるかな？」（易しさ）

## 挨拶・マナーが厳しい —在日外国人アルバイト意識調査—

岩国市でもコンビニや飲食店などで、外国人の方が従業員として働いているのを見かけます。

日本でアルバイト経験のある在日外国人（年齢15歳以上）を対象とした、「在日外国人のアルバイト意識調査」（株）マイナビの結果概要がありました。

その中で、在日外国人が日本で働いてみて感じたギャップは、1番目に「挨拶・マナーが厳しい（39.1%）」、それに続き「時間に厳しい（36.1%）」、「上下関係が厳しい（34.7%）」と礼儀作法について答えた人が多かったそうです。

日本特有の文化や日本人の生真面目な点が、母国とは違う仕事の厳しさにつながり、ギャップを生んでいるようだとのコメントがありました。

また、在日外国人がアルバイトを探す際、魅力を感じる条件として「外国人を歓迎



している（48.6%）」、「給料が高い（41.8%）」、「交通費がもらえる（37.1%）」という結果でした。外国人がアルバイトを探す上で働きやすい環境と待遇面を重視していることが伺えます。

グローバル社会においては、皆さんも国外で働く機会が増えると思います。

まず、その国の文化、歴史、伝統や生活様式を学び理解することが大切です。そして、日本の諺（ことわざ）に、「郷に入っては郷に従え」があります。同じような意味の諺に英語では、「When in Rome, do as the Romans do」があります。また、日本には「習うより慣れよ」という諺があります。グローバル社会においてもA I・I o Tの進展においても、知識を基盤に、慣れること、変化に適應できることが大事です。

## 6月の月間目標

### 整理整頓

平成31月年度  
チャレンジ目標

- 1 挨拶 先に明るく元気に
- 2 先を見据えた行動 5分前行動  
・登下校のマナーに心掛ける
- 3 整理整頓
- 4 1%を誰かのために

今月の目標は「**整理整頓**」です。

整理整頓とは、いつも言っていますが、「整理」とは「いるものといらないものを分け、いらないものを捨てる」。

「整頓」とは、「必要なものをいつでも誰でも取り出せるよう、秩序だてて配置すること」を言います。

梅雨の季節を迎えます。ちょっと油断すると、ロッカーに置いていた衣類にカビが生えていたり、食中毒が発生し易くなります。

整理整頓を心がけると、あなたの部屋のなかがきれいになるだけでなく、あなた自身にも良いことが起きます。

いつも整理整頓を心掛けていると、頭の中がリセットされます。常日頃から、「い

る・いらない」の判断をすることで徐々に「自分軸」が形成され、身の回りの物事すべての判断が素早くできるようになり、悩む時間が少なくなります。整理整頓で一石二鳥ですね。

## コーヒーフレイク ー大阪人のツッコミとボケー

大阪にいる4歳の孫娘がこんな歌をうたっていました。

大阪には うまいもんが いっぱいあるんやで～  
たこ焼き ぎょうざ お好み焼き もんじゃ焼き **なんでやねん!**

この歌にあるように、最後に**オチ**があり、笑いを取ります。

幼児期から、たった2行の歌でボケとツッコミの英才教育を受けている大阪人にはカナイマヘンナ。

## 自転車安全点検 — 身を守る —

5月15日に岩国安全運転管理者協議会のお世話で、山口県自転車軽自動車商協同組合岩国支部の方々に、自転車通学生の自転車の安全点検をしていただきました。

総点検台数323台中、整備良好車は191台。要整備車は132台。整備割合は59.1%。

約6割の自転車が合格。4割の自転車が不合格ということになりました。

要整備車132台中、特に不良の割合が高かったのは、ブレーキ不良が50台、チェーン不良が33台、反射板（リフレクター）・尾灯不良が30台。ベル・ブザー不良が28台でした。

現在、自転車の安全走行が大きな社会問題になっています。自転車の安全走行は勿論ですが、その前にまず、自分が乗る自転車がきちんと整備されていることが大前提です。

未整備の自転車には、不良箇所を具体的に記入されたカードがあったと思います。必ず自転車屋さんで早目に整備し、そのカードを担当の先生に提出してください。

今年度生徒会が無事故達成のために第2校舎玄関ホールに上記のような掲示しています。まず、この数字が二桁から三桁になるよう、お互いにマナーの向上とルールの順守に心掛けましょう。



### 24節気

**芒種**（ぼうしゅ）6月6日頃。

\*芒（のぎ）のある穀物や稲や麦など穂の出る穀物の種をまく季節ということから、芒種と言われています（実際の種まきは、これよりも早い時季に行います）。梅の実が青から黄色に変わり、百舌が鳴き始めます。かまきりや蛍が現れ始める頃でもあります。次第に梅雨めいて、五月雨（さみだれ）の季節に入ります。

\*芒（のぎ）：米や麦などイネ科の植物で、花の外側についている針のような突起のこと。禾とも書きます。

**夏至**（げし）6月21日頃。

一年で、昼間が最も長く、夜が最も短い日。冬至と比較すると、昼間の時間差は4時間以上もあります。暦の上では夏季の真ん中にあたりますが、実際には梅雨の真っ盛りで、農家では田植えに繁忙を極める頃。暑さのピークは1カ月ほど先になります。冬至にはかぼちゃを食べる風習がありますが、夏至は地方によって様々で、関西ではこの日にタコを食べる習慣があり、関東地方では焼き餅をお供えたりします。

沖縄では、この頃に吹く季節風を「夏至南風」といいます。この風が吹くと、梅雨が明け本格的な夏の訪れとなります。

出典「日本の行事・暦」